



えがおがいちばん!!



たにぐち ひなこ
谷口 陽菜子 ちゃん(2か月)

『いつもパパと一緒にお風呂に入って湯船にぶかーっと浮いています！これからもすくすく元気に大きくなあれ。』(大字郡)

お子さんの写真を募集します

広報「さんようおのだ」では、元気な子どもたちの写真を掲載しています。お子さんの写真を広報紙に載せてみませんか？

■対象

赤ちゃんから小学校にあがる前のお子さん

■申込方法

写真（フィルム・デジタルどちらでも可）を市役所 1 階企画広報課広報係にご持参ください。ただし、携帯電話で撮影したものはお断りさせていただきます。

■掲載

広報「さんようおのだ」毎月 1 日号

※申込多数の場合は掲載が遅れる場合があります。

■問い合わせ・申込先

企画広報課広報係（☎82-1133）



どうなってるの？

質問

「子どもの安全」について

先日から児童を巻き込んだ悲しい事件が続いています。市内でも不審者情報などが寄せられているようですが、今こそ家庭、学校、地域が一体となって、子どもたちを守ることが大切だと思います。「子ども 110 番の家」や地区によっては「見守り隊」などがあると聞きますが、これがどういうものか、また私たちに何ができるのか、教えてください。（38 歳 女性）

おこたえします

担当課 学校教育課（☎ 82-1201）

「子ども 110 番の家」は子どもが犯罪などの被害にあいそうになったときに、助けを求めて安心して駆け込める場所として、地域の方々や商店、事業所などに協力を得て発足したものです。現在、市内に 400 か所以上の登録があります。

また、子どもが安心して登下校できるよう、校区単位でも「見守り隊」が組織されつつあります。校区によって名称やその取り組みが異なりますが、登録された隊員が散歩やジョギング、通勤時など、腕章を着用してパトロールを兼ねるなどライフスタイルに合わせて実施している例もあります。

子どもたちを犯罪などの被害から守るには、何よりも地域住民の連携・協力が一番大きな力となります。地域社会が子どもの安全を守ろうとしている姿勢を示すことが、子どもに対する犯罪の抑止につながるのです。各校区で協力の依頼があったときは、積極的な参加をお願いします。

また、日ごろから地域の目の一員として子どもを見守り、子どもの様子で気にかかる場面に遭遇したときには声をかけていただき、また不審な人物を見かけたときなどには警察に連絡をしていただくなど、みなさんのご協力をお願いします。



人のうごき（12月1日現在）

世帯	27,440	世帯	(+22)
男女	68,030 人		(-6)
男	32,115 人		(+18)
女	35,915 人		(-24)

※（ ）内は前月との比較



編集室のひとりごと

新年あけましておめでとうございます。合併して最初の新年を迎えましたが本年も「広報さんようおのだ」をよろしく願います。実は、昨年末にうれしいニュースが入ってきました。ある雑誌で行われた、地方自治体のホームページの使いやすさを比較する調査でなんと、山陽小野田市のホームページが中国・四国地区で第 4 位となったのです。1 位～3 位の顔ぶれを見ると、ともに肩を並べるだけでも申し訳ないようなところばかりなのですが…とは言いつつも、高評価をいただいたことは、新市のホームページ構築に携わった一人として素直にうれしく思います。しかし、せっかくほめてもらったのに市章が決定したので、現在、デザインのイメージに合わせてホームページをリニューアル中…せっかくの評価が落ちてしまわないか心配でたまりません…何はともあれ、今年も広報ともども、ホームページもご愛顧のほど、よろしくおねがいします。初登場の（シマ太郎）でした。